

受付印	家事審判申立書（死後離縁の許可①）
収入印紙 円	(収入印紙800円分を貼ってください。)
予納郵便切手 円	

準口頭	関連事件番号 平成・令和 年(家)第 号
-----	-----------------------

東京 家庭裁判所 御中 令和〇〇年〇〇月〇〇日	申立人 〔又は法定代理人 など〕 の記名押印	東山太郎 印
-------------------------------	---------------------------------	--------

添付書類	養親の戸籍謄本 通 養子の戸籍謄本 通
------	---------------------

申立人	本籍	東京都 〇〇区〇〇町〇丁目〇番
	住所	〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (方)
	連絡先	〒 - 電話 () (方)
	フリガナ氏名	ヒガシ ヤマ タ ロウ 東山太郎 昭和 平成 〇〇年 〇月 〇日生
	本籍	都道 府県
	住所	〒 - 電話 () (方)
	フリガナ氏名	昭和 平成 年 月 日生

(注) 太枠の中だけ記入してください。

申 立 て の 趣 旨

申立人が、本籍 東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番

養父 }
養母 } 亡 東山一郎 と離縁することを許可する旨の審判を求めます。
養子 }

申 立 て の 理 由

1 養子縁組年月日 昭和・平成・令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

2 養親（子）の死亡年月日 平成・令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

3 縁組をした時のいきさつ

養父母夫妻に子供がいなかったことから、同夫婦の親戚関係にあたる申立人の実父母に対し、申立人を養子に迎えたいという話があり、実父母の代諾によって、養父母夫妻と養子縁組をすることとなりました。

4 離縁をしたい理由

その後、養父一郎は死亡しました。養母花子は、平成〇年〇月〇日に北川信一と再婚し、北川との間の子を出産しました。そのようなことから、現在、申立人は、養方の親族とは疎遠となっている状況であるため、養父との親族関係を解消したいと思います。

5 生存養親との協議離縁の合意 (1) あり (2) なし

6 亡養親（子）の財産相続をしたこと (1) あり (2) なし

(ある場合は相続財産の内訳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。